

12. ロボットという言葉

文法：～という N、～というと…、～といった N、～というのは～ことだ、～という（ことだ）

- 会話 -

A：私は、ロボットの歴史について調べました。ロボット **という**と機械を想像する

人が多いと思いますが、「ロボット」 **という**言葉が最初に使われたのは、旧チェコス

ロバキアの劇作家であるカレル・チャペックによって書かれた作品の中ででした。

チェコ語で「働く人」という意味だそうです。

B：「ロボットの三原則」 **という**のを聞いたことがあります。

A：その「ロボットの三原則」 **という**のは、アメリカ人のアイザック・アシモフが書いたSF小説「私はロボット」の中で書

いたロボットであるためのルールのことです。1つ目は人間にとて安全であること。2つ目は人間の命令を聞くこと。

そして3つ目は、1つ目と2つ目を守りながら自分の命を守ることです。

B：最近のロボットも、この三原則が守られているのでしょうか。

A：難しいですね。守られているといいますが、新しい技術が進歩してきているので、これからどうなるかはわからないと

思います。



- 文法 -

～という N

物の名前やブランド名などを付け加えるときに使います。

(名前) という (人や物)

- ①先週「ひまわり」という食べ放題のお店に行ってきました。
- ②「フェレット」という動物を知っていますか。
- ③「村上春樹」という有名な日本人の作家を知っていますか。

「話」「うわさ」「意見」「ニュース」「考え」「命令」などの話すことや考えることについての名詞の内容を言うときに使います。「仕事」「経験」「事件」「性格」「特徴」などの場合、「という」あってもなくてもいいですが、長い内容の場合は「という」を使うことが多いです。「味」「におい」「写真」などの知覚や感覚についての名詞の内容を言うときは、「という」が使えません。

【普通形】V + という N

- ①さっき日本でまた地震があったというニュースを見ました。
- ②日本にはまだ忍者がいるという情報は、嘘です。
- ③あの歯みがき粉にはよくない成分が含まれているという話を聞いたことがあります。
- ④山本さんは、交差点内で三台の自動車がぶつかる（という）事故に巻き込まれたようだ。

～というと… 一般的に～からよく想像するものを言うときに使います。

～というと／といえば／といったら…

①外国人に人気がある日本の都市といったら、やはり京都でしょう。

②日本で台風が多い地域といえば、まず沖縄が思いつきます。

③日本料理に欠かせない調味料というと、やはり醤油ではないでしょうか。

～といった N Nの例を付け加えるときに使います。

～、～、～…といった N

①日本には、着物や風鈴、畳といった日本にしかない文化があります。

②日本語や中国語といった漢字がある言語は、私にとって難しいです。

③みかんの皮や種といった生ごみは、燃えるゴミでも燃えないゴミでもありません。

～というのは…ことだ 聞き手が知らないことについて説明するときに使います。

N というのは、【普通形】ということだ／ N(のこと)だ

①禁煙というのは、たばこを吸ってはいけないということだ。

②正三角形というのは、三辺の長さが同じ三角形のことである。

③くよくよするというのは、いつまでも悩んだり、小さなことを気にしたりすることだ。

～という（ことだ） 聞いた情報を他の人に伝えるときに使います。「～という。」は固い表現で、書くときやナレーションなどによく使われます。「～といふことですね」は相手が今言ったことを繰り返して確認するときに使います。また、「～そうだ」に似ていますが、「～という（ことだ）」は「～と聞きました」と同じで、聞いたことをそのまま引用することができます。

【普通形】 +という（ことだ）／とのことだ

- ①この辺りは昔、様々な生き物が住む海だったという。
- ②聞いた話によれば、あの遊園地は経営が難しくてなくなつたということです。
- ③近くにいた人の話によると、パトカーや救急車が何台も来ていたとのことです。
- ④すみませんが、雪で電車が遅れているので少し遅くなります。　ーわかりました。遅れるということですね。

★比べよう【～という（ことだ） vs ～そうだ】

違い	～という（ことだ）	～そうだ
ニュアンス	直接的で、そのまま引用ができる	間接的で、聞いた情報だけに使える
意向形や命令形	ある分だけみんなで分けましょうということです。 今日中に参加費を振り込めとのことです。	×

- 練習問題に挑戦！ -

問題1. 【「～という N」(名前) を使った文に変えなさい。】

例：お菓子が好きです。名前は「ポッキー」です。 → ポッキーというお菓子が好きです。

- ①おばは、ねこを飼っています。名前は「クロ」です。
- ②本を知っていますか。名前は『みんなの日本語』です。
- ③今朝、駅で飲み物を買いました。名前は「ポカリスエット」です。
- ④アイスクリームが好きで、よく食べます。名前は「サーティーワン」です。
- ⑤_____。

問題2. 【「～という N」(内容) を使って、文に完成させなさい。】

- ①_____というニュースを見ました。
- ②_____という話を初めて聞きました。
- ③_____といううわさを耳にしたことがあります。
- ④今日は、_____という話題について話しましょう。
- ⑤_____という仕事をしています。
- ⑥_____。

問題3. 【「～というと／といえば／といったら…」を使って、文を完成させなさい。】

- ①日本の食べ物といったら、_____と思います。
- ②世界で最も暑い国といえば、_____ではないでしょうか。
- ③眠くなるといったら、_____でしょう。
- ④冬のスポーツといったら、_____よね。
- ⑤子どもを連れて遊びにいくところといえば、_____しか思いつきません。
- ⑥_____。

問題4. 【「～といったN」を使って、文を完成させなさい。】

- ①母は、_____といった花が好きです。
- ②吉田さんには_____といった明るい色の服が似合います。
- ③_____といった辛い食べ物は食べられません。
- ④_____といった家庭のことは、みんなでするべきだと思う。
- ⑤一人暮らしするなら、_____といった費用は自分で払わないといけない。
- ⑥_____。

問題5. 【「～というのは…ことだ」を使って、文を完成させなさい。】

例：学生割引=学生は安くになります → 学生割引というのは、学生は安くなるということです。

①駐車禁止=ここに車を停めてはいけません

②徹夜^{てつや}=勉強や仕事などで朝まで寝ません

③断る=相手の希望などに「いいえ」と言います

④疑う=相手のことを信じずに、本当かどうか考えてみます

⑤にやにやする=隠された意味があるように、一人で声を出さずに笑います

⑥_____。

問題6. 【「～という（ことだ）」「～とのことだ」を使った文に変えなさい。】

例：ニュース「大きな地震がありました。」→ ニュースによると、大きな地震があったということです。

①昔、世界は大きな一つの大陸でした。

③ニュース「今年の水不足は心配ありません。」

②山田さんから「道が混んでいて遅れる」とメールがきました。

③国語の先生「57ページの13行目から読んでおいてください。」

④部長「領収書が必要です。」

⑤_____。